



令和4年6月号

LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主
星野つよし
自由民主党神奈川県第12選挙区
(藤沢・寒川)支部 支部長
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢973
相模プラザ第3ビル1F
Tel:0466-23-6338 Fax:0466-23-6339

星野つよしプロフィール

昭和 38 年 8 月 8 日 生まれ

昭和 54 年 藤沢市立長後中学校卒

昭和 57 年 神奈川県立鶴嶺高等学校卒

昭和 62 年 NY エルマイラ大学国際関係学科卒

昭和 63 年 日本大学法学部新聞学科卒

昭和 63 年 産経新聞社入社政治部記者

平成 7 年～平成 19 年 神奈川県議会議員 3 期

令和 3 年 第 49 回衆議院総選挙 4 期連続当選

経済安全保障法が成立

◆新型コロナウイルスにより、世界中がパンデミックに陥り、サプライチェーン・マネジメントに不具合が生じ、各国共に輸出入に頼る経済活動が難しい状況になりました。その上にロシアのウクライナ侵攻で、ロシアから各国に供給されている天然ガスや原油も止まり、世界規模の経済危機が顕著となっています。

◆こうした状況から国民を守るため、この度政府は、経済安全保障推進法を成立させました。この法律は、経済安全保障に関する体系的なもので、4つの柱で構成しています。

- ① サプライチェーンの強靱化、(特定物資の入手先を分散させたり、国内に備蓄)
- ② 機関インフラの安定供給、(発電所や空港に用いられる設備が、導入時にソフトウェアを仕込まれ、有事の際に誤作動を起こされる事態などを想定)
- ③ 先端技術の官民協力(政府インフラやテロ・サイバー攻撃対策、安全保障などで活用できると規定)
- ④ 非公開特許

各種 SNS は
こちらより
アクセス！

◆概要としては、半導体や医薬品など国民生活に欠かせない重要製品を安定的に供給させるため、各企業が重要製品をどこから調達しているかの調査を行えるよう権限を国に付与しました。また、ネット社会の脅威であるサイバー攻撃を防ぐため、インフラを担う大企業が、重要機器を導入する際の事前審査に関する規定を定めました。

◆これからも経済成長を促して雇用を守り、経済の安定を図って国民の生活を守るため、経済安全保障を拡充して参ります。皆様のご意見をお寄せ下さい。

衆議院議員

星野つよし

星野つよしさん

衆議院議員（4期）
元 経済産業大臣政務官
元 内閣府大臣政務官
元 復興大臣政務官
日本大学新聞学科卒
産経新聞社会記者
衆議院神奈川第12区選挙区支部長
（藤沢市・寒川町）



三原じゅん子さん

参議院議員（2期）
内閣府大臣補佐官
前厚生労働副大臣
元参議院厚生労働委員長
元参議院消費諸問題に関する特別委員長
元自民党女性局長（4期）
自民党二輪車問題に関する対策PT座長

衆議院議員

星野つよし

対談

×

内閣府大臣補佐官・参議院議員

三原じゅん子

藤沢市のコロナワクチン接種



星野

三原さんとは藤沢市の新型コロナワクチンの職域接種のことで何度も何度も連絡を取り合いましたね。藤沢の事業者さんたちからご要望を頂戴いたしましたので、そこで、厚生労働副大臣であった三原さんにご相談して、ご調整いただきました。

三原 そうですね。あの時は全国から職域接種の要望が殺到しており、皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。ご地元の藤沢の皆様には、安心して職域接種して頂けたと思っています。当時のマスコミからは無理と言われていた新型コロナワクチンの1日100万回接種ですが、菅前総理の号令で省庁の壁を取っ払って、実現できました。

星野 その際はありがとうございました。街頭活動を行っていても、ワクチン接種に対する感謝の声を頂戴いたします。

湘南初！Bリーグチーム誕生

三原 プロバスケットボールチーム「湘南ユナイテッドBC」のB3リーグの最終審査合格、誠にありがとうございます。秋にはホーム開幕戦を控えているそうですね。私も藤沢駅前前で応援署名をした甲斐がありました。藤沢は世界的に人気であるバスケットボール漫画「スラムダンク」の舞台としても有名です。いわばバスケの聖地にできた待望のチームです。

星野 コロナ以前は、スラムダンクの名シーンのモデルである鎌倉高校前駅の江ノ電の踏切で外国人観光客の方たちがよく記念影をしていました。三原さんと私の共通点は、国民目線に立って、省庁の垣根を打破するという点でしょうか。



縦割り行政の打破

三原 藤沢市の自動運転による配送実験「ロボネコヤマト」は全国的に先進事例として知られていますね。

星野 「ロボネコヤマト」では完全無人配達を実現できました。宅配ロボット、ドローンや空飛ぶクルマの活用など夢は広がります。三原さんは、内閣府大臣補佐官として、「こども家庭庁」の創設のためにいろいろご調整をされています。子ども行政はもっぱら、文科省・厚労省・内閣府とその管轄が分散していますが、縦割りの打破を目指すための新しい取り組みが「こども家庭庁」の創設です。私も強く応援します。



三原 ようやく法案がまとまってきて、形になりました。

星野 こども政策は、これまで各省庁に管轄がわかれていました。幼稚園は文科省、保育所は厚労省、認定こども園は内閣府といった役割分担です。妊娠や出産や児童虐待は厚労省、いじめは文科省です。このような状態で役所の方たちと意見交換をしても、結局は彼らにたらい回しをされて、責任逃れにされてしまいます。

三原 新しい「こども家庭庁」に強い司令塔機能を持たせて、しっかり権限を持った組織にしようというのが、私がいま内閣府で行っている仕事です。お役所の引っ越しをするだけではいけません。

星野 このような新しい視点に基づいた政策は、まさに三原さんならではの視点だと思います。社会的に声の大きい弱者の立場を代弁して、政策を考えていくのが三原じゅん子さんです。三原じゅん子にしかできない仕事がある。私は強くそう思います。

三原 ありがとうございます。あいく東京オリンピックは無観客開催となりましたが、江の島沖のセーリング競技は5Gのドローンで世界中に配信されました。この世界初の試みは、星野さんの衆議院予算委員会の質問がきっかけで実現できたことです。

星野 ご紹介ありがとうございます。藤沢の地から新しい技術を応援するのが私のモットーですから。これからもタッグを組んで、共に頑張ります。